

総合基本計画審議会が出された意見と計画の方向性

	委員の皆様からのご意見・ご提案	総合計画の方向性
計画全般	総合計画のボリュームは、現行計画と同程度を想定しているか。	現行の網羅的計画から、重点計画への見直しを行うことで、ボリュームを減らします。 具体的には、現在 306 ある実施計画のフレームを、100 程度に減らす方向で検討します。
	人口減少に関する視点・内容を盛り込んでほしい。	計画の基本的な考え方の中で、人口減少に対する考え方を明記し、その政策を盛り込みます。
	10 代も含め、若い人たちの意見も大事にしてほしい。	今回の計画策定にあたっては、コストリカ・スタディツアー参加者や松川高校生など、若い世代を中心にヒアリングを行いました。 また、若い世代とも本計画を共有するため、SDGsの視点や若者と地域をつなぐ施策を計画へ盛り込んでいきます。
計画の基本的な考え方	「安心・安全」という言葉が大事。計画の基本的な考え方への明記が必要ではないか。	基本的な考え方に明記をします。
	「人口減少対策に特効薬はない」という表現は後ろ向きで見直したほうがよい。	表現を見直します。 なお、この表現(言葉)の意図は、1つの対策・政策では解決することはできず、総合的かつ継続的に取り組むことの必要性について説明するために使用したものです。
	人口減少緩和の視点として、若者と地域のつながりを重点として位置付けているが、出生数の減少へのアプローチもしっかり行ってもらいたい	基本方針2「安心して子育てできる環境づくりと、地域で学び、地域で育つ人づくり」を中心として、子育てしやすい環境づくりや魅力的な教育の推進に取り組めます。
基本計画の骨子(案)	災害時の電気の供給対策が必要。片桐ダム発電所、小渋ダム第二発電所から、災害時の電力供給ができないか。	日本電気協会「系統連系規程」の単独運転防止の観点から、現時点では供給が困難な状況です。非常時の電力供給体制については、町として引き続き検討が必要と考えています。 なお、エネルギーの地域内循環について、施策として取り組んで参ります。
	リニア中央新幹線の開通を見据えた環境整備の中に、三遠南信自動車道開通の視点も盛り込んだらどうか。	「三遠南信自動車道」という言葉を追記します。 都市圏との交通ネットワークの整備により、人・モノの移動時間の短縮が期待でき、三遠南信自動車道整備もこの1つと考えます。